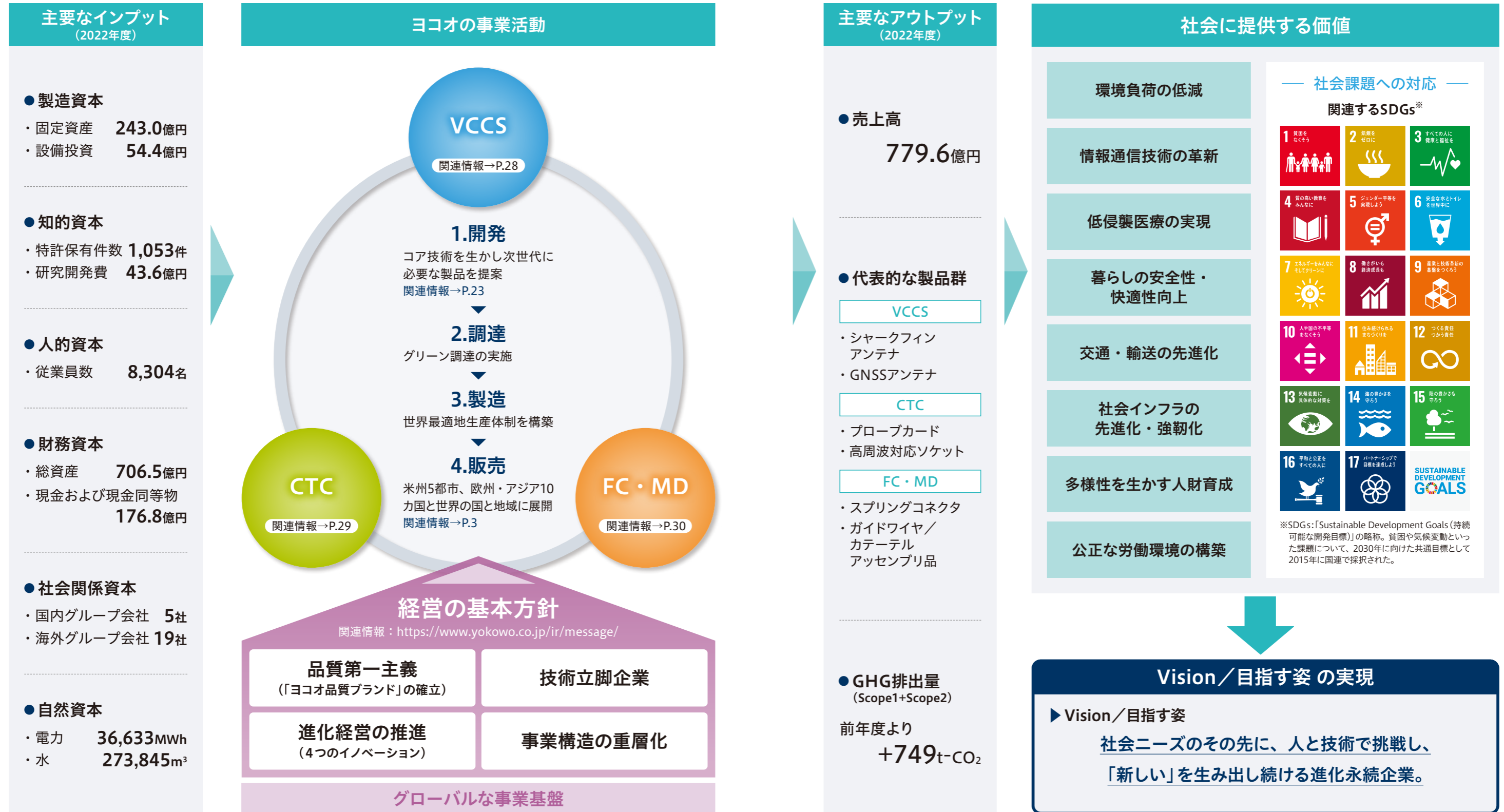


# ヨコオの価値創造プロセス

当社グループは、「6つの資本」を活用しながら、コアコンピタンス（微細精密加工／高周波／先端デバイス）を重層的に組み合わせることで、社会に価値を提供しています。これからも、4つの経営の基本方針を柱とした事業活動を通じて持続可能な社会の実現を目指し、当社らしい価値創造に努めていきます。



### Vision/目指す姿の実現

▶ Vision/目指す姿

社会ニーズのその先に、人と技術で挑戦し、  
「新しい」を生み出し続ける進化永続企業。

# ヨコオのマテリアリティ

当社は2020年に、グループとしてのマテリアリティを特定しました。これは、事業活動を通じた社会への貢献を明文化したもので、「ヨコオをいい会社にしていく」という経営者の思いが込められています。イノベーションの推進や、ビジネスモデルの革新によって事業を発展させ、環境・社会・多様性へ貢献します。

## 「ヨコオをいい会社にしていく」3つの思い

- 1 お客さまとお客さまに、ヨコオと取引して良かったと思われる会社
- 2 社会（地域社会含む）とお取引先さまに、ヨコオがいてくれて良かったと思われる会社
- 3 従業員とその家族に、ヨコオに勤めていて良かったと思われる会社

## マテリアリティ特定プロセス

特定のプロセスは以下の通りです。

- 1 経営方針、中期経営計画、SASB業界別マテリアリティなどから、自社あるいはステークホルダーが重要と判断するテーマをリストアップ
- 2 事業部長・戦略本部長とのワークショップによるテーマの絞り込みと到達目標の設定
- 3 社外取締役・社外監査役を含む取締役会による検討を加え、項目とKPIを承認
- 4 CSR課題との関連を整理し、特定結果を統合レポートやホームページ上で明示

## 3つのマテリアリティ

上記特定プロセスを通じて抽出、分析したテーマを、以下の通り3つに分類し、重要課題として捉えています。

- 環境
- 地域社会
- 多様性と包摂性

## ①お客さまとお客さまに、ヨコオと取引して良かったと思われる会社

- **最高品質と有害化学物質ゼロ指向による「ヨコオ品質ブランド」の確立**
  - 新5S (Simple, Slim, Small, Short, Smooth) 思想とAIによる生産プロセス革新による高品質、高生産性、環境負荷低減の両立
  - 世界トップクラスの微細精密加工技術・高周波技術の深化/進化を推進する研究開発体制の強化と、超小型・低消費電力製品開発による環境負荷の低減
  - アンテナ・ソフトウェア技術を活用したMaaS分野などへの参入
  - F0 (不良ゼロ化) 会議をはじめとする品質向上活動の推進
  - PLMによる技術の統合管理とデジタルツインを活用した品質事前検証機能の高度化
  - 事業活動を通じた環境負荷低減
    - プラスチック成型でのリサイクル材活用推進/廃棄物削減
    - 梱包材、輸送パレットの脱プラスチック・生分解性プラスチックへの転換
    - 切削油などの循環使用 (大学・高専との共同研究)
    - グリーン調達ガイドラインの制定と運用

- **疾病・難病治療への貢献**
  - 世界最高水準の微細精密加工・高周波技術を応用した革新的医療用具の創出
  - 産学オープンイノベーション (群馬大学・筑波大学・東海大学・神戸市立医療センター・UCLAなど)
  - 大学・病院・ベンチャーなどとのエコシステム構築 (ベンチャーエコシステム)

- **気候変動対策の推進**
  - 2050年のカーボンニュートラル実現に向けた、気候変動対策の具体的な設定と推進
  - 気候変動への対応
    - TCFD「気候関連財務情報開示タスクフォース (Task Force on Climate-related Financial Disclosures)」に適合する具体策の設定
    - CDPのフレームワークによる開示
  - 水資源管理 (水使用量の削減、排水の質向上)
  - 資源リサイクル (廃棄物量の削減、ゼロエミッションの推進)

## ●コンプライアンス・ガバナンスの強化

【関連するSDGs】

## ②社会（地域社会含む）とお取引先さまに、ヨコオがいてくれて良かったと思われる会社

- **コミュニティ/地域社会との対話と発展への貢献**
  - 地域住民の雇用
  - 地方自治体への寄付、地域イベントへの協賛
  - 富岡市とネーミングライツパートナー締結
  - 富岡工場周辺の清掃活動
  - 富岡市教育基金、富岡世界遺産展示物維持管理
  - 群馬大学産学連携協定
  - 富岡ロータリークラブを通じ、米山記念奨学金、災害支援金を拠出
  - 富岡市・富岡商工会議所を通じて地域課題解決を推進
  - 小中高等学校への教育支援
  - ぐんまテックプランターへの地域開発パートナーとしての参画
  - 海外人材の富岡地区就業者拡大 (TISP) を通じた地域活性化への貢献
  - 東京都認定NPO法人「経営支援NPOクラブ」の賛助会員として中小企業支援と次世代若人育成支援活動を推進

- **サプライチェーンにおける社会的責任の遂行**
  - 公正・公平な選定、下請法の遵守
  - イコールパートナーとしての関係構築
  - 不正鉱物資源排除などのチェック体制構築 (紛争鉱物の監視体制)
  - 生産拠点の重層化 (VCCSセグメント：第3拠点の安定化)
  - 途切れない供給網の構築 (複線化・ネットワーク化)
  - 2次、3次サプライヤーへの支援体制強化

- **グローバルBCP体制確立と不断のテストによる実効性向上**

- **児童労働、不正鉱物資源排除などの現地政府・NPOなどと連携した人権チェック体制構築**

- リスクマネジメントの強化 (事業リスク管理委員会の設置、主要リスクの開示)
- 汚職、賄賂、反競争的行為の回避
- 公正な市場競争の実現 (グループ規程の制定と遵守状況モニタリング)

【関連するSDGs】

## ③従業員とその家族に、ヨコオに勤めていて良かったと思われる会社

- **従業員の多様性と包摂性の推進、進化**
  - TISP (富岡インターナショナル・スペシャリスト・パーク) 構想の推進
    - 海外のスペシャリスト人材を100名規模で採用し、海外人材との協働が当たり前に進められる事業運営プロセスの確立を通じて、多様性を生かした事業活動の活性化や生活環境の整備を通じた地域との交流・活性化に貢献する
  - 女性活躍ステージの拡充、進化
    - 改正女性活躍推進法にのった行動計画の改定・推進とPDCAサイクルによる拡充、進化
    - 次世代育成支援対策法にのった行動計画の改定・推進とPDCAサイクルによる拡充、進化
    - 社内保育所設置によるワークライフバランス改善
  - 年齢にかかわらず活躍できる職場環境の整備
  - 障がい者雇用と活躍ステージ拡大に向けた特例子会社の設立

- **働きがいのある魅力的な職場環境の実現**
  - テレワーク定着によるワークライフバランス改善
  - 有給休暇取得促進によるワークライフバランス改善
  - 疾病予防・治療支援拡充による従業員満足度の拡大
  - 社会貢献も対象に含めた表彰制度の創設
  - 交流会 (製品技術・生産技術・QC)
  - グローバル昇進・処遇制度の創設
  - 先端技術研究開発センター設立による技術者にとって魅力的な環境
  - AIなど先端技術学習機会の提供 (大学院教育・ビジネススクール・外部研究機関)
  - キャリア開発支援とエンゲージメント強化を主軸とした人事制度改革

- **海外拠点現地採用社員の日本での長期研修・実習制度の拡充による実務能力養成と、グローバルに適用する人事制度の確立**

【関連するSDGs】

より高次元の事業活動と社会貢献  
GO BEYOND~Challenge the Next Stage~

▼ マテリアリティの達成目標と進捗状況

マテリアリティ	2030年目標		2022年度の達成度	
	評価指標	目標値		
① お客さまとそのお客さまに、ヨコオと取引している 良かったと思われる会社	最高品質と有害化学物質ゼロ指向による「ヨコオ品質ブランド」の確立	知財に裏付けられた革新的医療用具創出数(年間)	5件	2件 開発中(仕様確定)
		微細精密研究所・高周波研究所などの設立	設立	研究開発新棟「Micro Process R&D Center」を設立
	疾病・難病治療への貢献	患者数が少なく治療方法未確立の難病分野への治療手段提供数(年間)	3件	1件 開発中(原理試作段階)
	気候変動への対応 TCFDに適合する具体策の設定 CDPのフレームワークによる開示 取締役会による計画と進捗の管理	GHG排出量 2014年度比 2030年目標	Scope1・2 35%削減	中核工場である富岡工場とベトナム工場に太陽光発電設備導入 Scope3の算出を開始・具体的な削減対策を検討推進
		水使用量(原単位) 2030年目標	2020年度比 10%削減	2020年度比 25.6%削減
		廃棄物発生量 2030年目標	2020年度比 10%削減	2020年度比 42.0%増加
コンプライアンス・ガバナンスの強化	重大なコンプライアンス違反発生件数(年間)	0件	0件	
	研修受講率(年間)	100%	情報セキュリティ e-ラーニング：92% コンプライアンス e-ラーニング：98% 贈収賄防止 e-ラーニング：86%	
② 社会(地域社会を含む)と お取引先さまに、ヨコオがいて くれて良かったと思われる会社	コミュニティ/地域社会との対話と発展への貢献	地域社会貢献事業の実施数(年間)	10件	地域社会における活動を推進。詳細はP.50「地域社会」をご参照ください
	サプライチェーンにおける社会的責任の遂行	下請法違反件数(年間)	0件	0件
	グローバルBCP体制確立と不断のテストによる実効性向上	BCP戦略に基づく海外/国内生産ベストミックス	BCP認証取得	FC・MDセグメントのファインコネクタ事業にて、新たなBCP体制確立を推進
	人権配慮 児童労働、不正鉱物資源排除などの現地政府・NPOなどと連携したチェック体制構築	自社チェック+各国NPOと連携した積極的な適正労働施策推進への貢献	NPO連携活動 年間5件	人権方針の策定を推進。顧客の人権状況チェックに全て応じるとともに、自社チェック機能強化に向けNPOとの連携を検討中
③ 従業員とその家族に、ヨコオに勤めている 良かったと思われる会社	従業員の多様性と包摂性の推進、進化	女性リーダー比率 (係長以上リーダーの全女性従業員数における割合)	男性と同水準	男性39.0%、女性8.3%
		年齢にかかわらず活躍できる職場環境の整備	就労年齢制限 70歳+α	65歳以上も業務委託契約やコンサルタント契約で働き続けられる仕組みを導入済み
		TISP採用者数	120名	TISP対象在籍者数 72名
		障がい者雇用比率	法定雇用率(2.3%)の 1.5倍	1.5% 株式会社ヨコオみらいサポートの特例子会社認定を2023年3月に取得
	働きがいのある魅力的な職場環境の実現	有給休暇取得率(年間)	90%	71.5%
		社内保育所設置数(契約含む)	3件	富岡工場リニューアル計画の中で準備中。 GLTD制度の導入。育児支援プランを導入予定
		社内労働災害件数(年間)	0件	2件
海外拠点現地採用社員の日本での長期研修・実習制度の拡充による実務能力養成と、日本人社員の彼らとの交流によるビジネスマインド強化	海外長期研修生受け入れ人数(年間)	20名	0名 現地拠点での採用活動は通常通り実施したが、コロナウイルス感染症拡大対策により、日本での受け入れは見送り	

Topics

従業員向け施策の取り組み  
～次の100年に向けた人事制度改革～

当社グループは、2022年9月に創業100周年を迎えましたが、同時に次の100年に向けて歩みだしています。当社グループの考える「いい会社」(P.17「ヨコオのマテリアリティ」を参照)の1つに、『従業員とその家族に、ヨコオに勤めていて良かったと思われる会社』があります。従業員が「いい会社」と思えるには、成果を認められ報酬を得るだけでなく、仕事のやりがいや成長の実感、ひいてはどのように自己実現をしていくかが重要な要素であると考えています。一方で、変化が激しく先行き不透明な現代においては、既存の枠組みがすぐに通用しなくなり、常に新しい価値創造が求められます。それを創り出すのはいつの時代も“人”です。多様な人財一人ひとりが自身の能力を高め、それを結集させた先に創造があります。従業員の成長・自己実現は新しい価値を創造する源泉であり、会社にとっての財産です。今後は、従業員の主体的な成長を応援することが可能で、多様な人財が自己実現を達成しつつその能力を最大限に発揮できる人事制度改革を推進していくとともに、新しい価値創造へとつなげられる機会の提供を促進する制度へと昇華させていきます(具体的な取り組みについてはP.43「従業員」を参照)。

外部エンゲージメントの取り組み  
～ESG経営における外部評価対応に向けて～

当社グループは、気候変動への対応の取り組みについて、外部評価機関であるCDPを通じて状況を開示するとともに「B」評価を目指していますが、その他のESG評価機関における評価向上も目指しています。2022年度における取り組みの一環としては、統合レポート発行のほか、当社ホームページにおけるコンテンツを拡充するとともに、ESGデータ集<sup>※</sup>を掲載しました。GHG排出量におけるScope3の算出を開始したことに加えて、DEI(ダイバーシティ：Diversity、エクイティ：Equity、インクルージョン：Inclusionの略)における詳細データを開示しており、随時アップデートしていく予定です。こうした取り組みを通じて、FTSE Russell社におけるESG Ratingにおいて、ESG Rating 3.2(前年度は2.5)を獲得しました。まだ道半ばではありますが、着実に評価向上に向かっていきます。当社グループは今後も、「新しい」を生み出し続ける進化永続企業として企業価値の向上に努めるとともに、グローバルレベルの新たな社会課題にも積極的に取り組み、将来にわたって持続可能な社会の実現に貢献していきます。

※ ESGデータ集については、当社ホームページをご覧ください。  
<https://www.yokowo.co.jp/company/csr/esgdata.html>

# ヨコオのものづくり

当社グループは、微細精密加工技術／アンテナ技術／マイクロウェーブ技術などのコア技術を深掘りしながら最先端の技術を積極的に取り込み、世界のリーディングカンパニーへ多彩な独創的製品を提供しています。また、高水準のQCDSを実現するため、日々生産プロセスの革新を推進するとともに、モノからコトへの事業モデル進化を実現すべく、ソフトウェア開発力の強化にも取り組んでいます。

## 最先端の研究開発

### 基礎研究

#### マイクロウェーブ技術

自動運転・5Gが進展する中、車載通信・半導体分野におけるマイクロウェーブ技術の重要性がますます高まっています。当社は無線通信・半導体回路検査の両面から世界最高水準のマイクロウェーブ技術の確立を進めています。

#### プロセス開発

##### 微細精密加工

世界最高水準の微細精密加工技術に加え、精密めっき、MEMSプロセスの競争力強化を進めています。

##### 生産プロセス

主要な要素技術は全て自社生産技術部門が開発しており、生産・品質管理へのAI適用も進めています。

##### 設計プロセス

3次元CAD情報を活用した設計からメンテナンスまでの一貫システムの確立を進めています。

#### 製品化研究

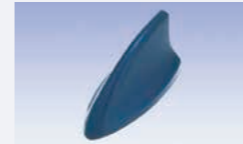
研究開発部門・プロセス技術部門および新製品開発・事業化を担う部門が密接に連携する体制を整えています。また、他社や大学などとも連携して先端技術を取り入れ、製品進化と事業重層化を推進しています。

### 応用研究

- 無線技術・ソフトウェア開発力を活用した社会プラットフォーム構築に関わるシステム提案
- 自動運転・5Gの進化に不可欠な半導体デバイスに組み込まれた無線アンテナ機能自動検査技術と高速光通信デバイス・コネクタの開発
- ターンキー型半導体検査用治具システム提案

## 重層化が進む製品

#### 車載アンテナ製品群



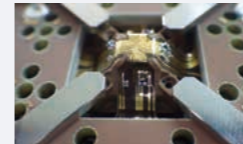
#### ソフトウェア応用製品群



#### 半導体検査製品群



#### 高周波デバイス検査製品群



#### 電子機器用コネクタ製品群



#### 医療用機器製品群

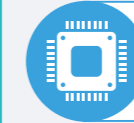


## 製品を展開する分野

### 拡大・強化分野



車載アンテナ  
● 自動運転



半導体検査用治具  
● 5G ● ターンキー



電子機器用コネクタ  
● 小型／低背／防水／大電流



医療用機器  
● 精密部品 ● アッセンブリ品

### 戦略的育成分野



社会プラットフォーム  
● シェアカー ● ドローン



高周波デバイス検査  
● アンブ ● フィルター



光通信  
● コネクタ ● 光電変換



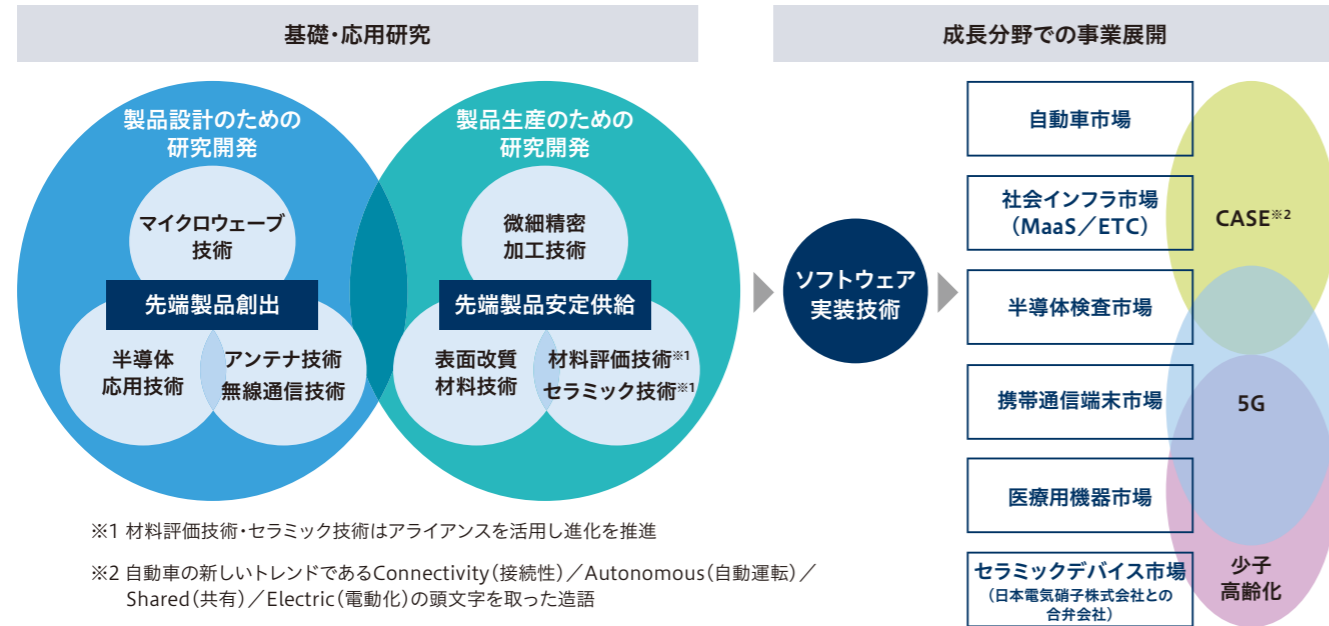
精密めっき  
● 湿式 ● 乾式

世界一の高周波・無線応用・精密部品メーカーへ

# 研究開発

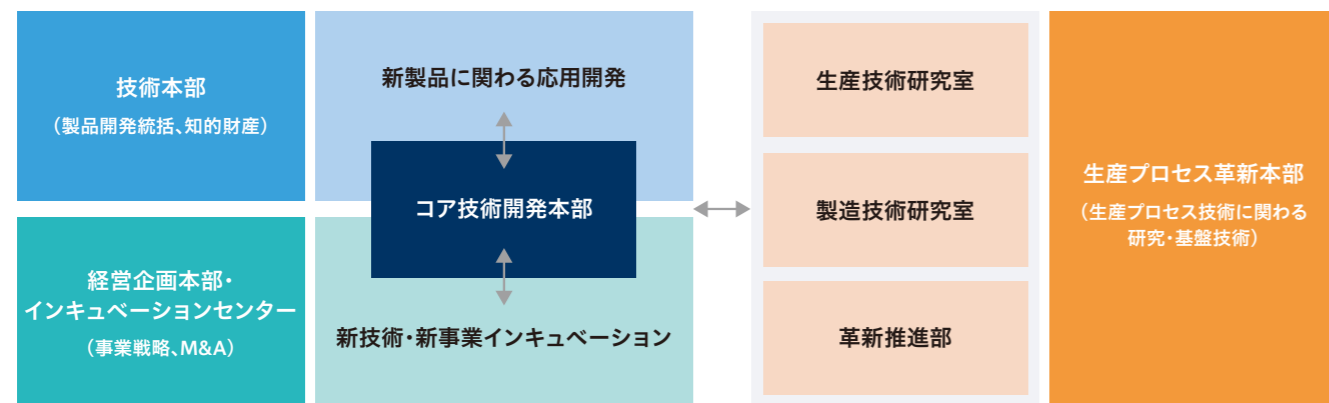
当社グループは、微細精密加工技術／マイクロウェーブ技術／アンテナ技術／表面改質材料技術（表面処理・材料改質）／半導体応用技術の5分野を、事業競争力を支えるコア技術と定めています。各技術の深化と複合化により事業の重層化を進め、先端製品を創出していきます。

## 研究開発方針



研究開発においては、「製品設計のための研究開発」と「製品生産のための研究開発」を車の両輪と位置付けています。両者をシンクロナイズさせることで先端製品の創出と、お客さまへの安定供給を実現しています。

## 研究開発体制

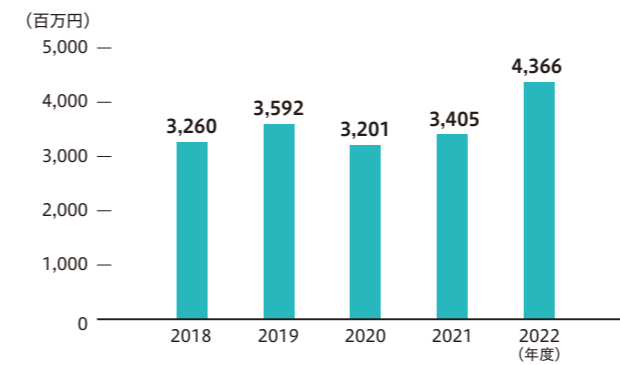


新製品に関わる応用開発は事業部・技術部ごとに実施し、製品開発全体と先端技術開発を技術本部が統括しています。新技術・新事業のインキュベーションは経営企画本部・インキュベーションセンターが担当し、研究開発のうち、マイクロウェーブ技術、微細精密加工技術、MEMS技術など当社製品の競争優位に必要な技術はコア技術開発本部が担当しています。また、製品生産に関わる研究は生産プロセス革新本部が担当しています。

## 研究開発投資

当社グループでは、「全社成長戦略」に基づき、コア技術を核に、研究開発部門、事業部技術部門および現地開発拠点が丸となって研究開発を推進しています。特に技術集積度がより高く付加価値の高い製品展開に重点を置き、新技術および新製品の研究開発に注力しています。

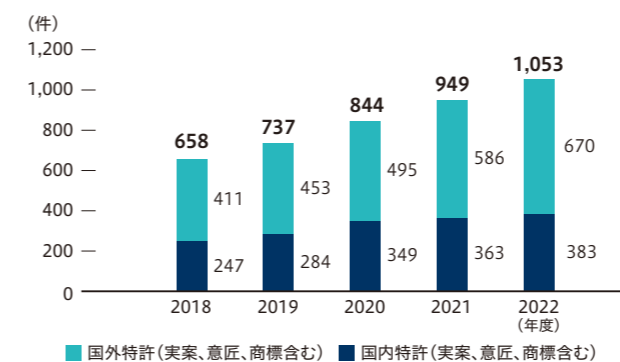
### ▼ 研究開発費推移



## 知的財産権

知的財産について注力する事業分野や事業展開を見据え、国内外の保有特許を確実に増やし、ライセンスなども積極的に活用することで、事業戦略の要である知的財産の基盤を強化しています。

### ▼ 特許保有件数推移



## 主要な研究開発テーマ

中長期的に、CASE(Connectivity/Autonomous/Shared/Electric)と呼ばれる次世代技術への投資集中やCASEの進展に伴い、ハードウェアである車両と複数の交通手段の決済の統合等のソフトウェアサービスを組み合わせたMaaS (Mobility as a Service: サービスとしての移動)と呼ばれるビジネスモデルの拡大、5GおよびBeyond 5G (6G) に代表される次世代高速・大容量通信用など新規半導体需要の顕在化、ウェアラブル端末など次世代製品の普及、低侵襲医療の浸透や遺伝子検査技術の高度化により、市場の拡大が予想されます。

上記市場に関わる各セグメントの主要な研究開発テーマは以下の通りです。

### VCCS

- ADAS・自動運転に不可欠なV2X (車/車間、道路/車間、歩行者/車間)用アンテナシステム
- CASE時代に向けた通信システム・機器・デバイスの技術開発

### CTC

- 大電流および高速高周波デバイスに対応した検査用ソケットの開発
- プローブの表面改質など、高機能・高耐久・機能向上を目標とする研究開発
- 半導体デバイスのロードマップ (狭ピッチ・多ピン・高周波) に歩調を合わせるプローブカードの開発

### FC・MD

#### 【FC (ファインコネクタ) 事業】

- 高定格コネクタの開発
- 高速光通信に対応する光コネクタの開発

#### 【MD (メディカル・デバイス) 事業】

- 微細精密加工技術およびマイクロウェーブ技術を応用した日米の大学・医療機関と新たな低侵襲の医療用機器や検査システムの共同開発

# 製品技術

当社グループは、長年にわたり蓄積してきた独自の技術力を基盤に、革新的かつ多彩な製品を開発し、世界の電子・電機・自動車メーカーなどに提供しています。

## 独自技術の融合による独創的製品開発



コア技術である微細精密加工技術／マイクロウェーブ技術／アンテナ技術／表面改質材料技術、そして、より効率的に製品を生産するための「製造プロセス開発技術」を融合することで、独創的な製品開発を実現しています。また、技術力の深化・蓄積を進めるとともに新たなコア技術の基礎研究開発も推進しています。

こうした独自の技術により車載アンテナ、半導体・電子部品検査用治具、電子機器用コネクタ、医療用デバイスなど革新的かつ多彩な製品を製造し、「自動車市場」「半導体検査市場」「携帯通信端末市場」「医療用機器市場」へ提供し続けています。

## 自動車市場

車載アンテナに求められる小型化・複合化・低背化・スマート化といったニーズに応えるため、長年培ったアンテナ技術・マイクロウェーブ技術に加え、モジュール化技術を駆使し、次世代の車載通信を支えるアンテナシステムを開発しています。

また、電磁界シミュレーターや5G通信におけるミリ波周波数（～40GHz）の測定に対応した電波測定サイトなどの最新鋭設備を取りそろえるとともに、世界最高水準の技術力を駆使して、業界をリードする革新的な製品を製造しています。

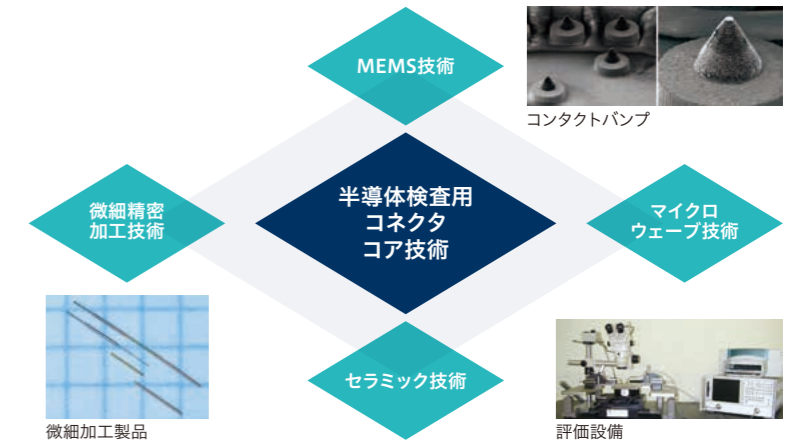
### ▼ VCCSセグメント展開領域



## 半導体検査市場

半導体や電子部品は、これまで以上の高速化・高周波化・高集積化が求められ、検査プロセスにおいても同様の対応が求められています。当社は、長年培った微細精密加工技術とマイクロウェーブ技術に加え、MEMS技術を駆使することで、高速・高周波および前工程・後工程検査プロセスの全ての領域における製品をグローバルに開発・提供しています。

### ▼ CTCセグメント展開領域



## 携帯通信端末市場

急速に拡大する携帯通信端末市場において、コネクタは着脱性・低背省スペース化のニーズが高まり、業務用情報端末機器においては着脱耐久性・耐環境性がより一層重要になってきています。当社が独自に開発したスプリングコネクタは、こうした市場ニーズを的確に捉え、さまざまな用途に使用され急速に普及が進んでいます。

### ▼ スプリングコネクタの特長と主な用途



## 医療用機器市場

微細精密加工、コーティング、アッセンブリ（組み立て）、製品設計・評価などの技術を駆使し、低侵襲医療分野のOEMガイドワイヤ／カテーテルなどの製品を開発しています。設備・製造ラインも自社内に完備し、製品加工から完成品組み立て、親水性コーティング、梱包・滅菌まで、一貫したサービスを提供します。アッセンブリ工程においては、用途に応じてさまざまな接合方法を選択可能です。

